

事業報告書

株主の皆さまにおかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
ここに当上半期の事業報告書をお届けいたします。

1. 当期の経営成績・財政状態の概況

当第2四半期連結累計期間(2021年4月1日～9月30日)において世界の経済は、5%という経済成長率(GDPの伸び率)が示すように、引続き堅調に伸長しました。その一方で、主要な経済圏は岐路に差し掛かったように見えます。国際通貨基金(IMF)は今月発表した世界経済見通しで、「パンデミック中の回復—健康上の懸念、供給混乱、物価圧力」と見出しに書きました。当社グループは、このような事象に俊敏に対処しながら、事業を遂行してきました。今後とも、予断をもって当たることなく、従業員の健康と安全を最優先に、高操業の維持と安定供給の確保、債権保全などの事業要件に注力し、顧客との意思疎通を保ち、顧客にとって価値ある製品の開発を推進し、揺るぎない品質の製品を安定的に供給していきます。

当第2四半期連結累計期間の業績は、次のとおりとなりました。

1 連結経営成績(累計)

※億円未満切捨て

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益		1株当たり四半期純利益
	億円	%	億円	%	億円	%	億円	%	円 銭
2022年3月期第2四半期	9,413	32.5	2,984	61.9	3,035	57.9	2,209	57.4	531.67
2021年3月期第2四半期	7,105	△9.7	1,843	△12.5	1,922	△11.9	1,403	△15.0	337.47

(注) 包括利益 2022年3月期第2四半期 3,182億円(153.7%) 2021年3月期第2四半期 1,254億円(△0.5%)

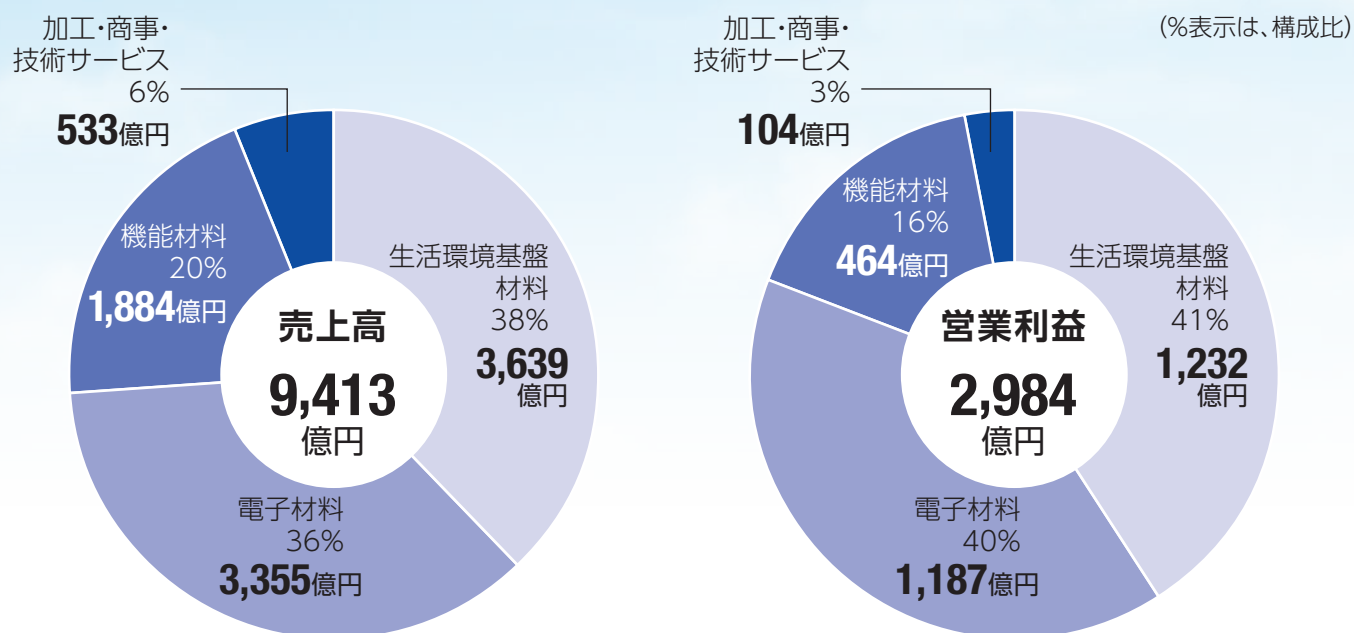
2 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	億円	億円	%	円 銭
2022年3月期第2四半期	36,768	31,402	83.1	7,358.44
2021年3月期	33,806	28,866	83.2	6,769.72

(参考) 自己資本 2022年3月期第2四半期 30,564億円 2021年3月期 28,131億円

3 セグメント別の概況

セグメント別売上高と営業利益



▶ 生活環境基盤材料事業

	2020年4月～9月	2021年4月～9月	前年同期比増減率
	億円	億円	%
売上高	2,206	3,639	65.0
営業利益	381	1,232	3.2倍

塩化ビニルは、世界の旺盛な需要に支えられて製品価格の上昇が続きました。苛性ソーダも6月以降市況が着実に改善しました。米国シンテック社をはじめとする全拠点でフル操業するも、需要は供給力を上回りました。

▶ 電子材料事業

	2020年4月～9月	2021年4月～9月	前年同期比増減率
	億円	億円	%
売上高	2,924	3,355	14.7
営業利益	1,055	1,187	12.6

不足が解消しないほど強さの続く半導体需要に対応すべく、半導体産業はフル操業を継続しました。その中において、当社は半導体シリコン、フォトリジスト、マスクブランクス等の半導体材料を最大限出荷しました。希土類磁石にあって、マレーシアでの操業制限を受けながらも、自動車、産業機器、ハードディスクほかの用途向けに旺盛な需要に応えるべく、最大限の出荷を行いました。

▶ 機能材料事業

	2020年4月～9月	2021年4月～9月	前年同期比増減率
	億円	億円	%
売上高	1,504	1,884	25.3
営業利益	333	464	39.2

すべての用途と市場で需要が増大し、全生産拠点でフル操業を継続して最大限の供給を行いました。その一方で、原材料価格の高騰に対処すべく一連の価格修正を実施しました。

▶ 加工・商事・技術サービス事業

	2020年4月～9月	2021年4月～9月	前年同期比増減率
	億円	億円	%
売上高	470	533	13.3
営業利益	72	104	44.3

半導体ウエハー関連容器の出荷は発送・納入用、工程内用ともに好調、自動車用入力デバイスの出荷も堅調でした。当期8月、食品包装用塩ビラッピングフィルムの製造・販売を事業とする株式会社キッチンスタを買収しました。

2. 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

世界経済は、10月にIMFが成長率予想を若干下方修正したとはいえ、今年全般として伸長すると見込まれています。その一方で、感染の揺れ戻し、供給の乱れ、労働力不足、インフレーションの進行などが、前提の見直しを余儀なくする事態もありえます。そのような様々なリスク要因がある中で当社グループは、全ての事業を伸ばすための取り組みを推し進めます。開発投資も緩めず、早期に実現させます。ROE、ROICについては、収益を伸ばすことで向上を目指します。

2022年3月期の連結業績予想につきましては、7月時点の発表と同様、以下の通りです。

2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	億円	%	億円	%	億円	%	億円	%	円 銭
通 期	17,000	13.6	4,850	23.7	5,000	23.4	3,630	23.6	873.49

3. 配当金に関する説明

当期の中間配当金は、前年同期に比べ40円増配の1株当たり150円とさせていただきます。また、年間合計の配当予想は前期より50円増配の1株当たり300円となります。

	年間配当金		
	中間	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期(当期)	150.00	(予想) 150.00	(予想) 300.00
2021年3月期(前期実績)	110.00	140.00	250.00

株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
配当受領株主確定日	期末配当：3月31日 中間配当：9月30日
定時株主総会	毎年6月
公告掲載方法	電子公告により、当社ホームページに掲載いたします。(https://www.shinetsu.co.jp/)ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
単元株式数	100株
上場証券取引所	東京・名古屋
株主名簿管理人 特別口座の管理機関 (連絡先) (郵送先)	三菱UFJ信託銀行株式会社 電話 0120-232-711 (通話料無料) 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

株式に関するお手続きについて

■ 証券会社等の口座に記録された株式

【お手続き、ご照会の内容】

- 郵送物などの発送と返戻に関するご照会
- 払渡し期間経過後の配当金に関するご照会
- 株式事務に関する一般的なお問い合わせ

【お問い合わせ先】

三菱UFJ信託銀行
証券代行部
電話 0120-232-711
(通話料無料)

上記以外の住所変更、配当金の受領方法の指定・変更等のお手続き、ご照会などは口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。

■ 特別口座に記録された株式

【お手続き、ご照会の内容】

- 特別口座から一般口座への振替請求
- 単元未満株式の買取・買増請求
- 住所、氏名などのご変更
- 特別口座の残高照会
- 配当金の受領方法の指定
- 郵送物などの発送と返戻に関するご照会
- 払渡し期間経過後の配当金に関するご照会
- 株式事務に関する一般的なお問い合わせ

【お問い合わせ先】

三菱UFJ信託銀行
証券代行部
電話 0120-232-711
(通話料無料)

株式に関する「マイナンバー制度」のご案内

市区町村から通知されたマイナンバーは、株式の税務関係のお手続きで必要となります。このため、株主さまから、お取引の証券会社等へマイナンバーをお届出いただく必要がございます。

■ 株式関係業務におけるマイナンバーの利用

法令に定められたとおり、支払調書には株主さまのマイナンバーを記載し、税務署へ提出いたします。

主な支払調書

- 配当金に関する支払調書
- 単元未満株式の買取請求など株式の譲渡取引に関する支払調書

■ マイナンバーのお届出に関するお問い合わせ先

● 証券口座にて株式を管理されている株主さま

お取引の証券会社までお問い合わせください。

● 証券会社とのお取引がない株主さま

三菱UFJ信託銀行 証券代行部までお問い合わせください。
電話 0120-232-711 (通話料無料)